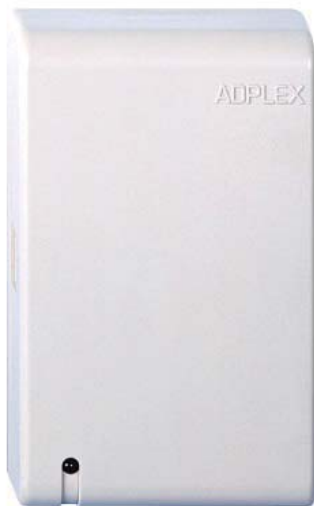


アドプレックス波形整形器 ADP-FS

センサ

既設のAEケーブルを利用して アドプレックスセンサを接続



■ 特徴

信号波形の乱れを補正 → AEケーブルでの配線を実現

本製品はアドプレックスライン用の配線に、非ツイストケーブルを使用した場合に生じる信号波形の乱れを補正し、通信を補助する製品です。本機能により既設の配線をアドプレックスラインとして流用することが可能となり、センサの増設や間仕切り変更時の設定変更などが簡単に行えます。

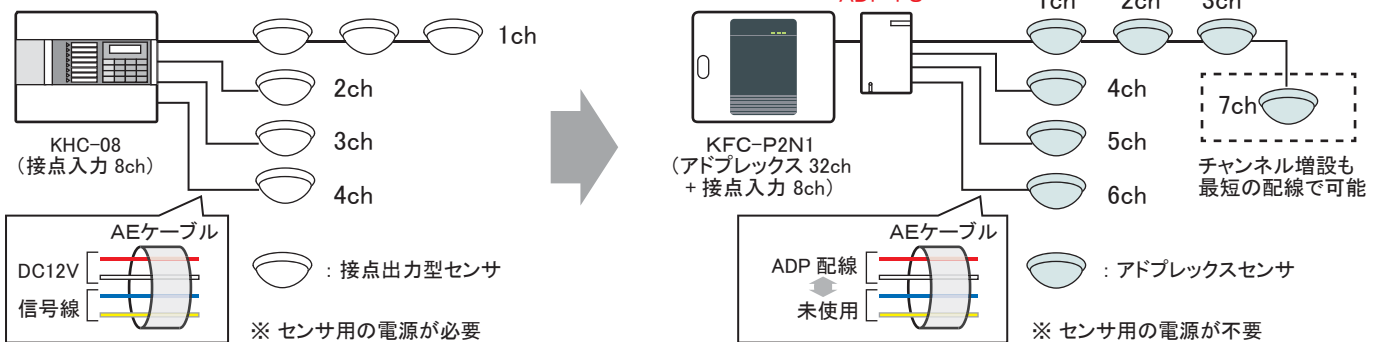
発報したセンサの判別をセンター装置で

今まで1ループに複数のセンサが接続されていた場合、どのセンサが発報したかは現地でのアラームメモランプを確認する必要がありましたが、アドプレックスセンサに変更することでセンター装置でも確認が行えます。また、「感度設定」「シャント」等アドプレックスシステム特有の機能がご利用頂けますので運用・メンテナンス面でも大きなメリットを得ることができます。

■ 仕様

電源電圧 / 消費電流	アドプレックスラインから供給DC9～18V / 10mA(最大)
周辺温度 / 周辺湿度	-10℃～50℃ / 80%RH以下(結露しないこと)
通信	アドプレックスライン (1ライン、アドプレックスⅢ専用)
表示	通信ランプ (緑色LED)
寸法 / 質量	W60×H95×D25mm / 約50g
タンパ検知機能	約50g / タンパ検知機能なし
材質 / 色	ABS樹脂 UL94V-0 / ライトグレー

■ 既設の接点型センサをアドプレックスセンサに変更



■ ご利用時の注意

- ADP-FSは、アドプレックスシステム対応のコントロールコミュニケータまたは多重入力装置から配線長1m以内を目安としてなるべく近くに設置してください。
- 本製品はADPLEXⅢ専用の製品です。
- 非ツイストケーブルは線芯の太さがφ0.65～1.2mmのケーブルがご利用いただけますが、φ0.9mm以上のケーブルを推奨します。
- 線芯の太さがφ0.65mmの場合は、φ0.9mmよりも線路抵抗が大きいため、センサの電源電圧の低下にご注意下さい。
- 非ツイストケーブルによるアドプレックスラインの配線は、線材の構造上、強電配線等からのノイズの影響を受けやすくなります。また、アドプレックスラインからもノイズを発生する可能性があります。ご使用前に配線経路を確認し、他の配線からのノイズや他機器へ影響を及ぼさない経路を選択してください。
- 非ツイストケーブルを使用する場合、最大総配線距離(結線されている全ての長さ)は400mを目安としてご利用下さい。(GPEVケーブルの場合は、最大800m)
- アドプレックスラインの末端に接続するセンサの電源電圧が使用範囲内(DC9V～18V)であることをご確認ください。



安全に関するご注意

商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「設置マニュアル」をよくお読みください。

○外観及び仕様については、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
○カタログと実際の製品の色については、印刷の関係で多少異なる場合もあります。